

市報

やまぐち

2004 9/1 NO.1371

CONTENTS
主な内容

山口市産業コーディネーターの活動で
広がる起業家のつながり

10月4日に
「福祉総合相談窓口」を開設

SEPTEMBER

Communication Paper Yamaguchi





30万中核都市を目指し、徳地町を含めた新たな協議へ 県央部1市4町合併協議会を設置

8月3日の徳地町からの1市3町（山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町）協議への正式な参加申し込みを受け、各市町では、19日に臨時議会が開催され、1市4町による新たな合併協議会の設置についての議案が可決されました。これを受け、23日に「山口県央部1市4町合併協議会」が設置され、県央30万中核都市の実現と合併特例法期限内の合併を目指し、協議を行うこととなりました。

徳地町申し入れの趣旨と経緯を尊重

防府市との合併を検討してきた徳地町は、最終的に防府市とは広域合併についての考え方が一致しなかつたことから、県央中核都市実現に向けた徳地町の選択として、1市3町との合併協議に参加したい旨の申し入れが8月3日になりました。

市としては、この申し入れが、防府市との十分な協議の上の結論であること、また、議会及び町民の意見を反映した選択であると認められることから、これらを尊重し、既に協議を進めている1市3町とともに、徳地町の参加についての検討を行いました。

徳地町の参加により高まる県央中核都市実現の可能性

その結果、第一に、徳地町は2市4町の合併協議をともにしてきた間

柄であり、県央30万中核都市建設に向けての強い思いを共有していることから、徳地町の参加は、将来の県央中核都市実現の可能性を高める合併であること。第二に、徳地町とは、2市4町協議で8割の合併協定項目の調整を済ませており、今後の協議が円滑に行えることが見込まれることから、平成17年3月末までの知事への合併申請を要件とする合併特例法の期限内の合併が可能であるとの判断から、徳地町の参加申し込みを受け入れることとしました。

新たな合併協議会設置が賛成多数で可決

8月19日に開催された臨時市議会では、「質の高い行政サービスを安定的・継続的に提供するためにも合併が必要」「1市4町の枠組みでの合併協議については、市民への十分

な説明がなされていないのでは」「徳地町の参加は、将来市民の負担になるのでは」などの質疑やご指摘がありました。最終的に市の考え方方が了承され、1市4町による合併協議会の設置など、関係議案が賛成多数で可決されました。

1市3町合併協議会は休止し、確認事項は引き継ぐ方針で

他の4町でも、合併協議会の設置議案が可決されたことを受け、1市4町は、8月23日に「山口県央部1市4町合併協議会」を設置し、県知事に届け出を行いました。また、この日をもって、1市3町合併協議会は休止となりました。なお、県央30万中核都市の実現を目指すこととしているため、2市4町協議および1市3町協議での確認事項は、基本的に引き継ぐこととしています。

◇意見受付・問い合わせ 市企画
経営課中核都市推進室（☎934-2744 FAX934-2642
2 ☎kikaku@city.yamaguchi.

**県央合併について
ご意見をお寄せください**

徳地町は、豊かな自然や歴史をはじめ魅力的な地域資源を有しており、個性ある新市のまちづくりを進めて行く上からも重要な役割を担った地域です。また、地理的に歴史的に防府市との関わりが深く、新市と防府市との良好で緊密な関係をつくる上からも徳地町の参加は将来の県央30万中核都市づくりに大きな意味を持つと考えられます。

市としては、臨時議会でのご指摘も踏まえ、秋に予定しているリーミーティングで1市4町のまちづくりの方向性と併せて、徳地町の参加について市民のみなさんに説明をしていく予定です。

徳地町を含めた県央部合併についての、市民のみなさんのご意見をお待ちしています。

徳地町の参加により高まる県央中核都市実現の可能性

その結果、第一に、徳地町は2市4町の合併協議をともにしてきた間

柄であり、県央30万中核都市建設に向けての強い思いを共有していることから、徳地町の参加は、将来の県央中核都市実現の可能性を高める合併であること。第二に、徳地町とは、2市4町協議で8割の合併協定項目の調整を済ませており、今後の協議が円滑に行えることが見込まれることから、平成17年3月末までの知事への合併申請を要件とする合併特例法の期限内の合併が可能であるとの判断から、徳地町の参加申し込みを受け入れることとしました。

新たな合併協議会設置が賛成多数で可決

8月19日に開催された臨時市議会では、「質の高い行政サービスを安定的・継続的に提供するためにも合併が必要」「1市4町の枠組みでの合併協議については、市民への十分

な説明がなされていないのでは」「徳地町の参加は、将来市民の負担になるのでは」などの質疑やご指摘がありました。最終的に市の考え方方が了承され、1市4町による合併協議会の設置など、関係議案が賛成多数で可決されました。

1市3町合併協議会は休止し、確認事項は引き継ぐ方針で

他の4町でも、合併協議会の設置議案が可決されたことを受け、1市4町は、8月23日に「山口県央部1市4町合併協議会」を設置し、県知事に届け出を行いました。また、この日をもって、1市3町合併協議会は休止となりました。なお、県央30万中核都市の実現を目指すこととしているため、2市4町協議および1市3町協議での確認事項は、基本的に引き継ぐこととしています。

◇意見受付・問い合わせ 市企画
経営課中核都市推進室（☎934-2744 FAX934-2642
2 ☎kikaku@city.yamaguchi.

山口市産業コードィネーターの活動で 広がる起業家のつながり

山口市の新しい事業の創出や、起業家の支援などを目的とした山口市産業コードィネーターは、昨年8月に設置されて以来、セミナー・や交流会などを開催し、創業支援及び起業家間の連携を着実に推進してきました。その業務の内容や、コードィネーターとの関わりを生かしながら、現在山口で頑張っている起業家のみなさんの体験談をご紹介します。

山口市産業コードィネーターは、今から起業しようとしている人、起業したての人、新しい事業展開を考えている人などを対象に、経営戦略のアドバイス、出会いの場の提供、企業連携の促進、創業相談の対応を行なうなど、これから市の産業全体の発展を見据えました。

を深められる場として機能します。特に今年度は、参加者がプレゼンテーションをする場を設けるなど、参加型の内容を開拓していくことを目的として、年に1度開催する夢づくりオフィス交流会は、県内外から起業家や経営者などが参加し、人脈を広げる場として機能しています。今年度の交流会についての詳細は市報10月15日



起業化支援セミナーの様子



夢づくりオフィス交流会の様子

起業化支援セミナーは、先駆的な起業家などを招いて講演を行ったり、同じ地域の他の起業家と交流

号に掲載する予定です（昨年度の様子は産業コードィネーターのホームページ）
<http://www.saikyo.jp/y-platform>をご覧ください。

そのほか、進学や就職を考える



ベンチャーハイスクールの様子

高校生を対象として、職業選択の重要性を学ぶベンチャーハイスクールを実施するなど、次世代育成にも力を入れています。

- 2月19日（土） 営業の基礎
- 3月12日（土） プrezentーションの実践
- いざれも
- ◇時間 午後2時～4時
- ◇場所 山口情報芸術センター（中園町7-17）
- ◇対象 市内で事業を営んでいる方、起業に関心のある方
- ◇申し込み・問い合わせ 平住所、氏名、年齢、連絡先を明記の上、郵送、FAX、Eメールのいずれかで市商工振興課（〒753-8650亀山町2-1☎934-2813 Fax 934-2650）

起業化支援セミナー「みのり塾」

受講料は無料です。お気軽にどうぞ。

- 9月11日（土） 体験談を聞く（ハセガワタカシさん、芥川愛子さん）

✉ shoko@city.yamaguchi.jp
yamaguchi.jp

山口市産業コーディネーターとの関わりを生かしながら、
山口で頑張っている起業家の体験談をご紹介します。

坂井英夫さん
(システムエンジニア)



産業コーディネーターは、人や仕事とつながるとても大事な接点

産業コーディネーターと出会う前は、仕事のやり方は本などをみて独学で学んでいましたが、そこに書いてあることしか分からぬし、なにより人との交流がなく孤立しがちでした。そんな私にとって、産業コーディネーターはとても心強い存在です。自分の仕事が実際に市場のニーズに合っているかなどのアドバイスがもらえますし、同じような不安を抱えている起業家の方々と出会える場所もあります。今後は、産業コーディネーターと一緒に得た人々とのつながりを大事にして、自分の可能性を広げていけたらいいですね。

会社員から経営者となつて大切なのは「判断力」。産業コーディネーターには、その判断への助言をもらっています。産業コーディネーターの2人も同じ道を歩んできた起業家なので、とても信頼できます。私の会社のパソコン教室に来ている方から、「転職したい」「起業したい」といった相談をもちかけられることがあるのですが、自分の体験談をお話しするとともに、「起業化支援セミナーに参加したらいよ」とお勧めしています。

古谷誠人さん
(塾経営者)

産業コーディネーターは、自分の夢を温かく育ててくれる存在

私の夢は、(※1)コミュニティスクールをつくること。でも、それを叶えるためにはどうしたらいいかわからず、いろんな窓口を訪ねていたときに産業コーディネーターに出会いました。漠然とした夢が常識として通用するかどうかを相談し、きちんと意見をくれたのは彼らが初めてでした。その力量を大変ありがたく感じています。起業化支援制度は他にもいろいろありますが、山口市のように市が民間に委託している形は珍しく、

相談する者にとっては、自分と同様立場の人とずっと相談させてもらえるという安心感があります。

※1…「地域社会の学校」の意。柔軟なカリキュラムの策定や地域住民の運営の参加、校長の公募などを特徴とする。文部科学省により設置基準が検討されている。

●山口市産業コーディネーター●

熊野町1-10ニューメディアプラザ山口2階
(ITビジネスセンター6号室)
TEL 920-1357
y-platform@saikyo.jp
<http://www.saikyo.jp/y-platform>

相談者の起業に対する関心度が高くなってきたと感じるとともに、われわれの活動が認知されていることを実感できるようになりました。

当初は相談者を待つ体制でしたが、今は産業の現場を見る目を養うという、もう一つのコーディネーターとしての大変な役目を果たすために、外へも出向くようにしています。

今後は、これから会社を興す起業家だけでなく、実際に起業をしている方やサラリーマンにも刺激を与えられるセミナーや交流会も開催したいですね。また、活躍の場を探している起業家と、以前から地域に存在する産業(会社など)を引き合わせるお手伝いができたらいいなと考えています。起業家のみなさんのがんばりを守ることが、まち全体の元気につながっていけばいいですね。



中村伸一さん



藤田栄美子さん
(ITアドバイザー)

起業化支援セミナーはお勧めです

実は、私が当初予想していた以上に起業したいと思っている方がたくさんいらっしゃいました。すでに起業している方や起業しようとしている方との情報の交流が、これからももっと増えていくべきだと思います。そのためにも、ぜひセミナーなどに積極的に参加して欲しいですね。



河津良一さん

相談に来られた方が相談者でなくなり、遊びに来られる感覚になられたときが一番うれしいです。起業家同士を引き合わせることを大切にし、ゆくゆくは相談窓口が「産業コーディネーターのいる『場所』」となればいいなと思います。

みなさんが来やすく過ごしやすい雰囲気作りに心がけ、ちょっと近くを通ったからと立ち寄ってくれるような、そんな身近な存在であるように、これからも心がけていきます。どうぞお気軽にご利用ください。



(左) ハセガワタカシさん (造形美術作家)
(右) 稲垣房子さん (デザイナー)

出会いを生かして、新たな可能性を

ハセガワさんと稲垣さんは、産業コーディネーターの紹介によって出会い、意気投合。お互いの個性を大切にしながら、共同でできることを模索しています。

ハセガワ 「アートを産業の中でどう展開していくか、アートをもっと生活の中で表現できないか」と感じていた流れで、いろんな人と会いたくて起業化支援セミナーに参加しました。そこで出会った方々から多くの影響を受け、自分の引き出しを増やしてもらえた気がします。稲垣さんとの出会いが今後どのように展開するか楽しみです」

稲垣 「ハセガワさんも私も県外出身者。だからこそ見える山口の良さがあります。都会は新しいものしか生き残らないけれど、山口は既存のものを生かす感覚がある。私たちを引き合ってくれた産業コーディネーターも、一人ひとりの個性を生かし、みんなで地域をよくしようという考え方で接してくれます。地域に根ざした仕事をしたいと考えている私にとって、頼りになる存在ですね」

ドッポ「DOPPO」と産業コーディネーター

「DOPPO」とは、山口市を中心としたIT従事者のネットワークです。

「『山口に同業者同士の横のつながりがあれば面白いのでは?』というのが活動開始のきっかけです。活動内容は主に(※3)メーリングリストによる情報交換です。私たちにとっての産業コーディネーターは、人脈や情報を与えてくれる非常に心強い存在です。将来、DOPPOのような同業者による緩やかなネットワークが、山口の(IT分野の)土壤となり、そこに産業コーディネーターが野菜や花(起業家)を植えるように活用していってもらえた

らと思います。今後も、相互にいい影響を与えあいながら、活動を続けていきたいですね」



杉山誠さん
(DOPPO代表・
WEBエンジニア)

※3…特定のグループに属する人々に対し電子メールを同時に送信するしくみ。

(※2) ファシリテーターとして仕事をしたいけれど何をしていいかわからなかつた頃、「NPO法人やまぐちのSOHOを応援する会」のイベントで産業化支援セミナーと出会いました。その縁で、起業化支援セミナーと出会いました。山口の講師というきっかけも与えていただきました。山口県ではファシリテーターという職業の認知度がまだ低いので、今は地道に紹介セミナーを開催しています。その中の出会いや経験を大切にして、さまざまな分野へのファシリテーションの普及と活用を目指したいと思います。

※2:組織や団体等による問題解決や合意形成などのコミュニケーション活動において、協働的・創造的な議論や話し合いの過程を設計・マネジメントする人のこと。



片山葉子さん
(ファシリテーター)

大きな転機となつた出会い

好きな仕事で独立でき、楽しい毎日

会社員時代、起業したい気持ちはあったもののタイミングをつかめずについたのですが、起業化支援セミナーに参加したときに、起業されているWEBデザイナーと出会い、その方の話が大変おもしろくて内容が濃かったので、「私も独立したい」という気持ちが強まりました。会社をやめるのには勇気がいりましたが、大事な人生の岐路で選択できたのは、親身になつて相談にのつてくれた産業コーディネーターのおかげだと感じています。



芥川愛子さん
(WEBデザイナー)

新しいことを始めるときには、まず産業コーディネーターに相談

私はもともと起業しようと思つていなかつたのですが、UTAーンをきっかけに独立することになりました。産業コーディネーターは、自分にとつては頼れる兄貴のような存在。ちょっととした相談もすぐにのつてくれるし、併せて自分と同じ境遇の仲間がそこに集まることも魅力ですね。これから2年、3年と時間を経るごとに、成果をだしていきたいです。



能野哲也さん
(システムエンジニア)



どんな相談ができるの？

<高齢者（※1）>

- 高齢者の生活支援、介護予防、介護者への支援（健康管理を含む）、権利擁護、介護サービス、施設入所などに関する相談
- 痴呆性高齢者の症状の進行防止や利用できる保険・医療・福祉サービス、関わり方などに関する相談
- 在宅緩和ケアに関する福祉サービス・医療・看護の受け方など在宅療養生活に関する相談

<障がい者>

- 障がい者のホームヘルプ、デイサービス、ショートステイなど生活支援に関する相談
- 身体、知的及び精神障がい者の自立・社会復帰、施設入所、通所に関する相談

<介護保険>

- 介護保険の制度やサービスの種類・内容・利用・手続きなどに関する相談

<児童>

- 子どもの発達、性格、しつけ、いじめ、家庭環境、虐待など子どもを取り巻くいろいろな問題についての相談

<母子>

- 母子・寡婦家庭の生活、住宅、教育、就労、精神的な悩みなどについての相談

(※1) 高齢者の相談は、最寄りの市在宅介護支援センターでも受けることができます。

基幹型在宅介護支援センター

(業務内容)

- * 高齢者及び介護者の総合相談
- * その他基幹型在宅介護支援センター業務（職員）
■ 社会福祉士、保健師

やまぐち障害者生活支援センター

(業務内容)

- * 身体障がい者に関する専門相談※月～金の午前中（職員）
■ 社会福祉士、保健師

介護保険課窓口

(業務内容)

- * 介護保険の制度やサービス全般に関する相談・申請
- * 要介護認定の申請受付（職員）
■ 介護保険担当

次のような申請手続きができます

<高齢者>

- 高齢者の各種在宅福祉サービス申請（市在宅介護支援センターが代行申請）

- 養護老人ホーム入所申請

<障がい者>

- 障害者支援費サービス申請
- 精神障害者、難病居宅支援サービス申請（ホームヘルプサービス、ショートステイ等）

- 障害者手帳申請（※2）

- その他障害者福祉サービス申請

<介護保険>

- 要介護認定の申請

- 住宅改修、福祉用具の購入等の申請

- 介護サービス費の自己負担が高額となった場合や食事の標準負担額の減額などの申請

(※2) 障害者手帳申請に基づく特別児童扶養手当、市心身障害児福祉手当、障害児福祉手当、特別障害者手当、障害者福祉医療については、必要に応じ児童家庭課及び社会課職員等が福祉総合相談窓口へ出向き対応します。

■問い合わせ

市高齢障害課☎934-2758

市介護保険課☎934-2795

市児童家庭課☎934-2797



10月4日に 「福祉総合相談窓口」を開設

～福祉に関する相談・申請窓口が便利になります～

市では、多様化する福祉ニーズに応じたサービスの利便性を向上するため、高齢障害課、介護保険課、児童家庭課が行う各種福祉サービスに関する相談業務を1カ所に集約した「福祉総合相談窓口」を10月4日市役所東棟1階に開設します。窓口では、相談者それぞれの状況に即した福祉・保健・医療の各種サービスが総合的・効果的に受けられるよう、専門の職員がご相談に応じます。

なぜ福祉総合相談窓口をつくることになったの？

これまで福祉サービスごとにその管轄や運営主体が異なっており、複数のサービスを利用したい場合、それに申請が必要で、手続きの一つひとつも面倒なものが多くありました。また、福祉制度は短期間に大きく変化し、複雑化するとともに、互いの施策が関連しあっているため、これらの制度を総合的に相談できる体制整備が必要となっていました。

福祉総合相談窓口の特徴は？

1. 専門的な相談体制の強化

高齢者、障がい者、児童の各分野について、各種福祉サービスに関する情報提供及び悩み事等の相談業務を専門の職員がお受けします。

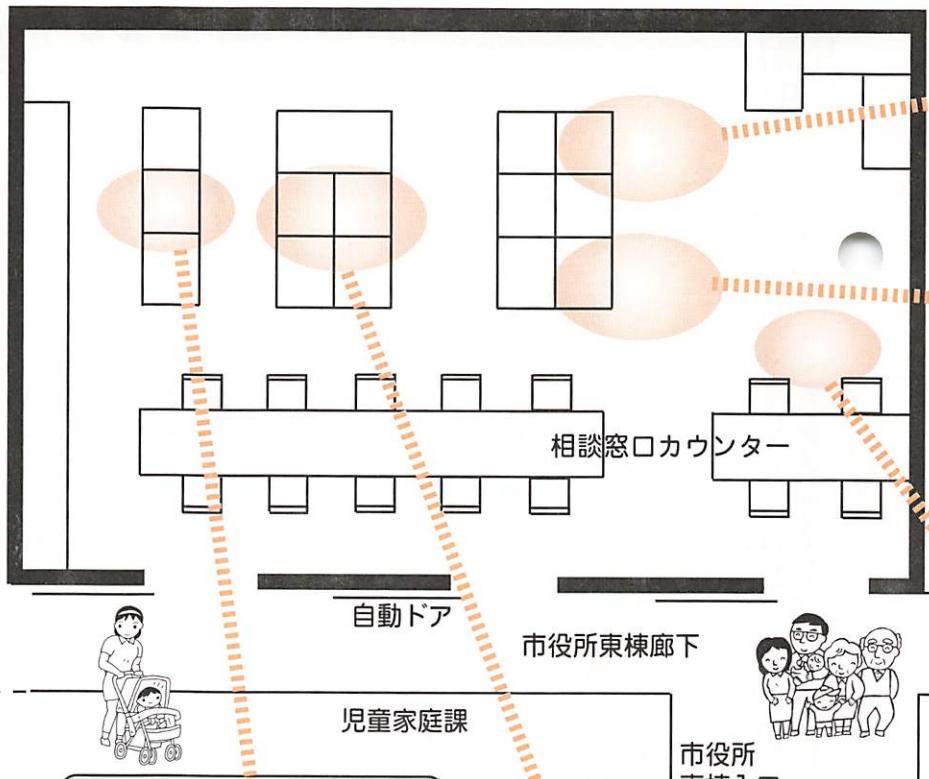
2. 煩雑な手続きも同時に1カ所で

ワンストップサービスへの第一歩として、市民を中心に関連する課や機関が連携することで、相談内容に基づいた必要なサービスの申請及び障害者手帳交付申請を、ほぼ1カ所の窓口でスムーズに手続きしていただけます。

たとえば・・・

- 要介護認定申請時に介護保険以外の福祉サービスも含めた在宅生活全般に関わる相談をする場合、2つの課を回らなければならなかった。
- 障害者手帳の申請・交付時に、福祉医療や手当の手続きをするため、3つの課を回らなければならなかった。

これからは、1カ所で相談も申請手続きもできるようになります。



家庭児童相談室

(業務内容)

- * 子どもに関する相談
- * 母子福祉に関する相談等

(職員)

- 家庭児童相談員
- 母子自立支援員

高齢障害課

(在宅支援担当・障害福祉担当)

(業務内容)

- * 高齢者福祉全般に関する相談・申請
- * 痴呆性高齢者（もの忘れホットラインの電話相談業務を含む）に関する相談・サービス調整
- * 身体・知的・精神障がい者福祉に関する相談・各種サービス申請受付、サービス調整
- * 在宅緩和ケアに関する相談・サービス調整

(職員)

- 在宅支援担当
保健師、介護福祉士、精神保健福祉士、看護師
- 障害福祉担当

こんな時はどうする？

突然の病気やけがに備えて

9月9日は「救急の日」、9月1日～30日は「救急医療普及月間」です。急な病気やけがをしたときに受ける「救急医療」。その中には「休日・夜間などの医療機関の診療時間外の医療の確保」と「緊急に行う救命救急医療」という2つの意味が含まれています。突然の病気やけがに備えて、これらの対応について確認しましょう。

休日や夜間に具合が悪くなったら：

医療の基本は、まず、かかりつけ医に相談することです。しかし、かかりつけ医に診てもらうことができない休日・夜間に具合が悪くなつたときは、平日夜間在家当番医、休日当番医、市休日夜間急病診療所（表中①）を受診します。

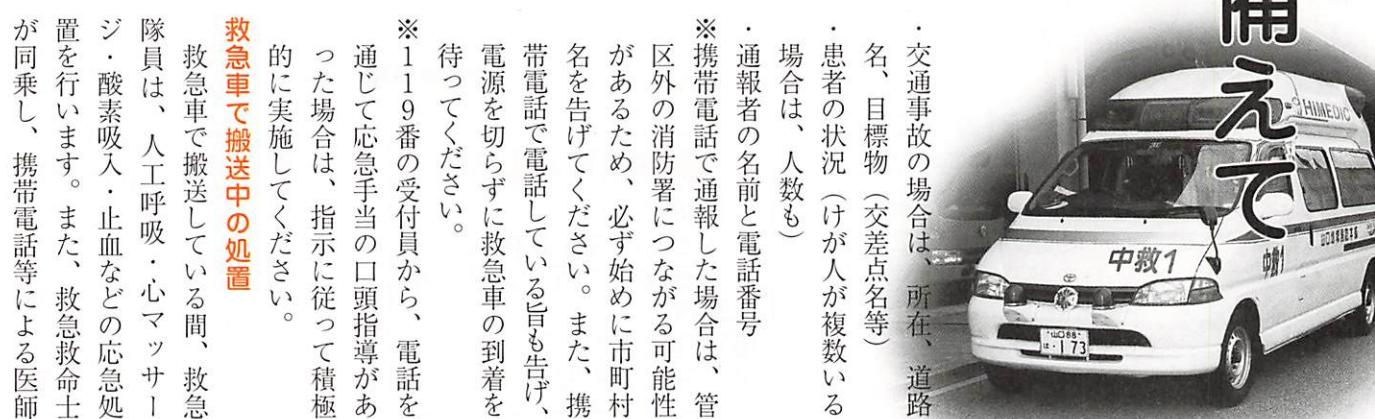
かかりつけ医で受診するようにしましょう。休日夜間当番医表は、市報15号に毎月掲載しています。また、休日には、テレフォンサービス（表中②）で当番医の紹介をしています。

また、夜間に子どもの具合が悪くなり、医療機関を受診した方がよいか迷つたときは、電話相談窓口があります（表中③）。この窓口では、看護師や医師が保護者からの相談を電話で聞き、助言を行います。

救急車を呼ぶときは…

もし、緊急の事態が発生し、救急車を呼ぶときは、119番に慌てずに通報しましよう。まず、「火事ですか。救急ですか」と尋ねるので、「救急です」と答え、次のことをお告げください。

・救急車を要請する場所（ビル等の場合は、ビル名、階層、号室も）



の指示の下で、高度な救命処置を行います。

現在、山口地域消防組合には28人の救急救命士が所属しており、救急車の要請があつた場合は、必ず同乗し、救命に努めています。

あなたの応急手当が生命を救う

119番通報をしてから救急車が到着するまでに、平均6分間かかります。大げさをして大出血でショック状態になり、心臓が止まつてしまつた場合など病状が非常に重いときは、救急車が来るまでに何らかの処置をしなければ命を救うことはできません。救急車到着までの応急手当が、その人の生命を大きく左右します。

山口地域消防組合では、人工呼吸や心臓マッサージ、止血法などの普通救命講習会を実施しており、これまでに1万人以上の方が受講・修了されています。受講を希望される方は左記までお問い合わせください。

※119番の受付員から、電話を通じて応急手当の口頭指導があった場合は、指示に従つて積極的に実施してください。

■問い合わせ

【休日・夜間診療に関するここと】

市健康増進課（☎ 921-266）

【救命救急に関するここと】 山口地域消防組合消防本部（☎ 932-2602）

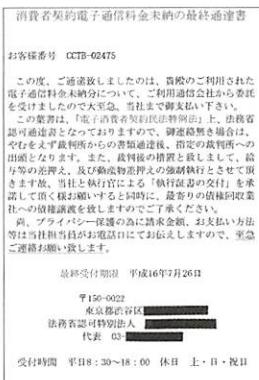
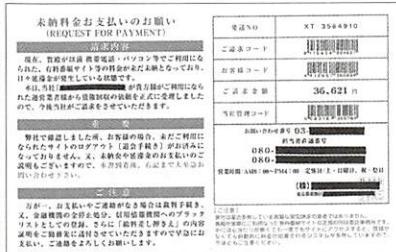
気をつけて！ 架空請求・オレオレ詐欺

架空請求

最近、身に覚えのない請求が送りつけられたという架空請求が多数発生しており、市にも1ヶ月に100件近い相談が寄せられています。

その内容は「出会い系サイトや有料アダルト番組の利用料金の未払い」や「借金についての請求」などをハガキやメール、電話で求められたというものです。これらは、何らかの名簿をもとに手当たり次第に請求しているものと考えられます。

こんなハガキ 届いていませんか？



■題名は「最後通達書」、「督促状」、「利用料金請求通知」などとなっている。

■連絡するように促す文書で、連絡先は03-、06-から始まる固定電話または080-、090-から始まる携帯電話の番号となっている。

オレオレ詐欺

電話で孫や配偶者などになりすまし、お金をだまし取る「オレオレ詐欺」。実際に電話がかかってきたときに慌てないよう、手口を紹介します。

<手口1>

電話をとるとすぐに「助けて」「交通事故をした」「借金が返せない」等と言って不安がらせ、「〇〇万円を□□銀行△△支店の口座番号〇〇〇〇にすぐに振り込んで」とお金を要求する。

■対処法 慌てることなく、お金を振り込む前に、事実を確認しましょう。一言「警察等に確認する」と言ってください。それでも、「警察には言うな」「親には言うな」などと言い出したら、「オレオレ詐欺かもしれない」と疑ってみてください。

<手口2>

事前準備として、子どもや孫を装って電話をしたり、「携帯電話の番号が変わった」と連絡してくる。

■対処法 日頃、あまり連絡してこない「孫」を名乗

- 支払いを促す内容なのに、具体的な内容は書かれていおらず、連絡するようにと書かれている。
- 差出人は、法務局認可〇〇債権管理センター、△△法律事務所など実在または類似の名前を使う。
- 中には、「最近多発している悪質な架空請求の業者ではありません。」と書かれているものもある。



身に覚えのない請求は無視を

一番の対処方法は、身に覚えのない請求は無視すること。これらを支払う義務はありません。

■連絡をしない 連絡すると自宅の電話番号や勤務先などの詳しい個人情報を知られてしまい、執ような請求の電話がかかってくる可能性があります。

■きっぱりと断る 電話で請求された場合でも、きっぱりと断り、すぐに電話を切ることが大切です。

■早めに相談 齧迫まがいの請求であったり、常識的に迷惑な時間帯に連絡してくるような場合は、恐喝等の犯罪に該当する場合があります。早めに警察へ相談しましょう。

次々と新しい手口へと変化しており、事例にないものも考えられます。不安なことやおかしいなと思うことがあったら、すぐにご相談ください。

■相談窓口 市地域生活課（☎934-2764）

る場合は、特に警戒することが大切です。

<手口3>

本人とは違う名義の口座を振り込み先に指定する。

■対処法 名義が本人でない場合や、住んでいるところと違う銀行の支店名（例えば、山口に住んでいるのに、東京の支店）を振込先に指定する場合は、疑ってかかることが賢明です。

<手口4>

警察官、事故の相手方、孫などを複数人で演じ、警察官役が「ご主人または息子さんが交通事故を起こし、相手が修理代や入院費用を要求しています」と言う。

■対処法 警察官が、お金で示談する話をもちかけることはありません。相手の所属や名前を聞いて、警察に確認・相談しましょう。

■相談窓口 警察署または最寄りの交番・駐在所
山口警察署（☎924-0110）
小郡警察署（☎083-972-0110）

ブックスタート事業の開始 に向け、委員会を発足

市では、地域における子育て支援の一環として、ブックスタート事業に取り組んでいます。ブックスタート事業は、乳幼児とその保護者に、絵本にふれる機会を提供することで、子どもの読書活動を推進するとともに、絵本を通して親子の絆を深め、乳幼児の健全な心を育むことを目的としています。平成15年度には事業実施のための調査研究を行いました。

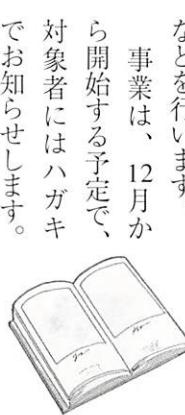
今年度は、7月26日（月）に「第1回山口市ブックスタート推進委員会」を開催し、こども読書関係者、母子保健関係者、児童福祉

公園美化ボランティア支援 事業による活動が始まる

市では、市民のみなさんが（※1）区公園の一部または（※2）開発公園において、自主的に美化活動をされる場合に、清掃道具の提供や作業中の事故に備えた保険の加入などをを行う「公園美化ボランティア支援事業」を5月1日から開始しました。

この制度を利用して、きれいな街づくりを進めてくださる団体や

関係者、子育て支援関係者、行政関係者などから、7人の委員を委嘱し、事業の実施に向けた準備を始めました。この事業では、平成16年4月1日以降に生まれた市内在住の乳児とその保護者を対象に、お住まいの地区の公民館で絵本やアドバイス集などが入ったブックスタートパックをお渡しし、ボランティア等がブックスタートの意義の説明などを行います。



事業は、12月から開始する予定で、対象者にはハガキでお知らせします。

◇問い合わせ 市立図書館（☎ 901-1040）

7月23日（金）に、山口情報芸術センターの企画運営会議を開催し、平成15年度および平成16年度との事業の実施状況等の報告を行うとともに、今後の自主事業の進め方や平成17年度の事業計画方針の方策について、各委員から意見を聞きました。

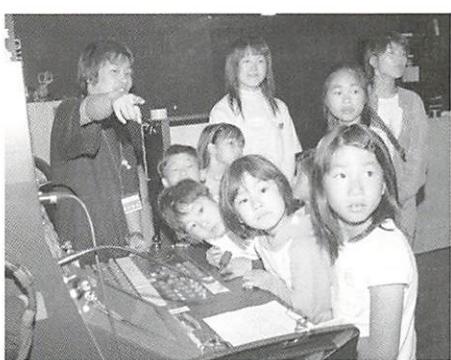
■今後の自主事業の進め方
自主事業（企画事業）の計画的な執行を図るため、事業実施過程における事前計画及び事後評価を実施することとし、平成16年度においては、試行的運用として9事業を取り上げて、評価の仕組み等の検討を行うこととしています。

平成17年度事業計画方針の考え方

- ・企画運営会議からの意見である「山口から世界に発信していく事業と市民が気軽に利用できる事業とをバランスよく実施する」ことを踏まえて事業を計画します。

- ・事前計画、事後評価を行い、「計画・予算・評価の連動」を進めます。

◇問い合わせ 市文化振興課（☎ 934-2718）



5月1日から5日に行われたYCAM探検ツアーの様子

*1…もっぱら街区に居住する人の利用に供する
ことを目的とする公園
*2…開発行為により設置した公園等

山口情報芸術センター企画運営会議を開催しました

■平成16年度（4月～6月）事業実施状況

区分	事業
交流・創造事業	三上晴子+市川創太 gravicells 「重力と抵抗」等 全6事業
市民参加事業	市民委員会自主企画事業 佐藤時啓 アーティストレクチャー「カメラオブスクラプロジェクト」等 全2事業
学習支援事業	YCAM探検ツアー等 全5事業
調査研究事業	未実施

■平成15年度事業実施状況

区分	事業
交流・創造事業	アモーダル・サスペンション～飛び交う光のメッセージ～等 全17事業
市民参加事業	市民委員会企画「メディアリテラシー講座」等 全16事業
学習支援事業	模擬授業「ハンバーガー1個から世界が見える」等 全14事業
調査研究事業	YCAMオリジナルレベル「SOUND TECTONICS」（「I.S.O」制作）
プレイイベント関係	Trial Run (semi-works for the multimedia stage制作) 等全5事業

9月20日～26日は 動物愛護週間です

～人と動物が
なかよく暮らせるまちにするために～

飼い主には、動物の適正な飼養・
保管について責任があります。動物はルールやマナーを守って正しく飼いましょう。

●飼い主としての責任を十分自覚し、人に迷惑をかけないように努めましょう。

- * 犬の散歩を行う際は、粪を処理するための用具を携行し、犬の粪は必ず持ち帰りましょう。
- * 犬の放し飼いをしないようにしましょう。また、犬の散歩中は、必ず引き綱をつけましょう。
- * 犬を飼われている方は、生涯1回の「登録」と、毎年1回の「狂犬病予防注射」を受けさせなければなりません。犬の登録の鑑札、注射済票は、首輪などに必ず着けましょう（迷子になったとき、飼い主の発見にも役立ちます）。
- * ねこは、飼い主の気づかない場所で、他人に迷惑をかけていることがあるので、十分注意しましょう（トイレのしつけは、できていますか？）。

●家族と同様の愛情をもって終生飼いましょう。

- * ペットも家族の一員です。人間の身勝手でペットに悲しい思いをさせないでください。
- * どうしても動物が飼えなくなった場合は、新たな飼い主を捜しましょう。



◇問い合わせ
市環境保全課（☎934-2776）

お知らせ

9月1日から山口銀行山口支店市役所出張所自動サービスコーナー（ATM）の稼働時間が利便性向上のため、午前8時45分～午後5時に時間が延長されます。



収入がないのに
納税通知書が…

Q 私は、平成15年10月に会社を退職しましたが、今年の6月に平成16年度の住民税（市民税・県民税）納税通知書が届きました。

◇問い合わせ 市課税課市民税担当（☎934-2734）
※納付に関するご相談は、市
収納課 収納担当（☎934-2740）まで



年1月1日から12月31日までの所得に対し課税されることになつておなり、納税通知書を6月にお送りしています。

今回の場合は、平成15年10月までお勤めをされていた会社での給与所得が課税対象となつたため、平成16年度の住民税（市・県民税）納税通知書が届いたものです。



死亡時の国民健康
保険の届出について

Q 国民健康保険に加入している家族が、先日亡くなりました。死亡届は提出しましたが、国民健康保険への届出も必要ですか。

【手続きに必要なもの】

- ・国民健康保険被保険者証
- ・喪主の方の金融機関の口座番号（郵便局を除く）
- ・次の受給者証等をお持ちの方は併せてご持参ください。
- ・介護保険被保険者証
- ・福祉医療受給者証
- ・老人医療受給者証

A 国民健康保険の資格を喪失させる手続きが必要です。この手続きをされないと、いつまでも保険料がかかりますので、ご注意ください。また、申請により、喪主の方に葬祭費（4万円）を

◇問い合わせ 市保険年金課給付担当（市役所1階☎934-2801）

支給する制度があります。必要な書類をご持参の上、14日以内に市保険年金課または最寄りの各出張所で手続きをお願いします。

再発見?!

土鈴



鎌銭司地区は、古くは和同開珎が造られた地、また大村益次郎ゆかりの地として知られています。その鎌銭司で、山口の歴史や特色を活かした民芸品「土鈴」が作られているのをご存知ですか？

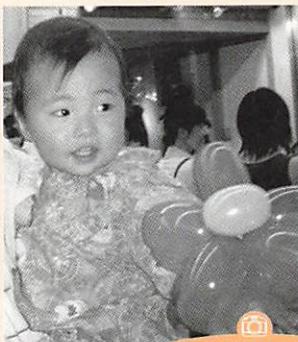
和同開珎を模した「古銭鈴」、大村益次郎や大村神社の鳥居の絵を入れたもの、大内人形、ふぐ、鶯舞いなどがモチーフとなり、中でも人気なのは毎年作られる干支の土鈴。30年以上も土鈴作りを続ける内田延子さんは「山口のおみやげの定番となるよう、作り続けたいです」と話してくださいました。

来年はとり年。どんなとりの土鈴が登場するのか楽しみですね。

scene
祭

街角写真館

お花の風船
もらったよ。
幼い日の
夏の思い出。



街角写真大募集!!

山口の風物詩や楽しいイベントなど、記録に残したいワンシーンはありませんか？あなたのセンスで撮った一枚をぜひやこねっとにお送りください。携帯電話での撮影もOK！お待ちしています！メールでの投稿はこちら！ yacopy@ycnet.jp

東京都出身 大内御堀在住

菅原理之さん

2001年に東京から山口へ。今は、「起業シティLet's」（以下レツツ）の事務局長や、自身が得意とする情報発信分野のNPO法人の理事長を務める菅原理之さん。今秋には地域通貨を学ぶために一週間イスイスへ赴きます。「人を応援したり、みんなが元気になることをしたい」という菅原さんにお話を伺いました。



vol.16

おもしろさや元気を自分でつくるまち

■山口にいらっしゃったきっかけは？ 東京で学生をしていた時、山口での映像関係の仕事に誘われたことがきっかけです。大きな進路変更でしたが、変化する不安よりも、何もしていないことの不安が強かつたので決断しました。ちょうどその頃は、まだしたいことがはつきりしていなかつたのですが、期待されていることをやりながら、自分を探していくことを思つたんです。

■地域通貨に关心があるそうですね。 レツツで行われた「地域通貨デザイン会議」に出席し、スイスで使われている「WIR」（ウイア）という地域通貨の話を聞きました。

「WIR」は、中小企業の経営支援を目的に使われていると聞き、「県域で広く使える地域通貨で、コミュニケーションビジネスの支援や地域に貢献することが出来れば！」と強く感じました。地域通貨も、人を応援するためのツールの一つと考えられるし、山口でもそんな地域通貨を作りたいと思つたんです。

まずは、レツツをたくさんの人達が集まる場所にしたいです。レツツ内にある「ブレイクスペース」を利用して「文化」や「国際」などをテーマにした催しを行い、それを発信していくことで「ここにはおもしろい人や店がある」と思ってもらいたいです。せっかく商店街の中にあるので、レツツに人が集まるところで商店街や地域が元気になり、両者の活性化につながる嬉しさです。そしてさらに、山口に住んでいる人たちで山口にいろいろな面白いものを作ることができればと思います。「面白くしたい」と思つてはいる人はたくさんいると思うので、その人たちの持つていてる芽が花開くようにお手伝いしたいですし、起業家支援や、地域や団体の情報発信支援なども、自分に出来ることは精一杯やって、山口で結果を残したいですね。

起業シティLet'sでは、入居者を随時募集中！ブレイクスペースは、ダンスや演劇公演、各種講座にも適していますので、お気軽にご利用下さい。

お問い合わせは、山口市道場門前1-1-18 どうもんビル4F「起業シティLet's」 ☎083-901-7818

企画・編集
やこねっとやこねっとは、やまぐち生活が
ぶち楽しくなる情報を発信します！

市民まちづくり情報センター やこねっと

yacopy@ycnet.jp

090-7120-0847

083-901-1165

〒753-0047 道場門前1-2-19
山口市市民活動支援センター さぼらんて内

山口のみんなが
元気になれる
情報を
お寄せください！！
お問合せ・情報は
お気軽にこちらまで！

詳しくはアクセスしてね！

<http://www.ycnet.jp>

携帯版はこちら！

<http://www.ycnet.jp/i/>

**エコパークやまぐち
かわらばん**

山口市リサイクルプラザ 927-7122 927-7133
http://www.c-able.ne.jp/~ympgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源物の受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝日の翌日はお休みです

夏場に限らず、冷蔵庫に入れて安心し、忘れてしまい、時間が経過して食べる気がしないからと捨ててしまふ。

買いつぎ、作りすぎ・・・
結構捨てていませんか？

水から沸かさずに、湯沸器からのお湯を使うとエネルギーが節減できます。

お湯を沸かすとき

温め直し以外に、根菜等の下ごしらえに使うと、ガスを使うより時間が短縮できます。

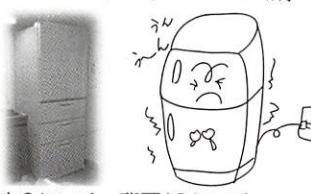
- 前日の残りご飯は、新たに炊きあがった直後のご飯の上に乗せておくと、温めることができます。
- 鍋の汚れは、汚れ専用のへらを使つておけば、洗う時間を短縮できます。
- 野菜をゆでるときは、アグの少ない順からゆで、残り湯は油で汚れたお皿洗いに使います。
- 煮込み料理や汁物の鍋は、調理後にタオルなどを巻いておくと保温効果があり、温め直しのエネルギーも減らせます。

参考文献 (財)省エネルギーセンター「かしこいただきます。食の省エネBOOK」

身边に取り組みますよ！ 食の「省エネ」 ～無理なく、楽しく、できることから～

近年地球温暖化が問題になっていますが、今年の夏の電気消費量は過去最大になっています。一世帯一日の食生活にかかるエネルギー使用量は7,600キロカロリー。中でも冷蔵庫、ガスコンロ、湯沸器が86%を占めています。今回は私たちの一番身近で簡単に取り組める食生活の「省エネ」について考えてみました。

冷蔵庫の詰めすぎは、冷却率を下げ、無駄なエネルギーを使つてしまします。また、冷蔵庫の背面と壁の間を空けるだけで毎日154キロカロリーが節減できます。冷蔵庫に入れた食品のリストを貼つておくと、賞味期限も確認でき経済的です。



左右2センチ、背面10センチ、上面にはある程度の空間を。

切つたものを除き、常温保存できます。レトルト食品、乾物、缶・瓶詰も同様です。冷蔵庫がいっぱいになつたら、本当にれる必要があるものか確かめてみましょう。冷蔵庫の詰めすぎは、冷却率を下げ、無駄なエネルギーを使つてしまします。

冷蔵庫

まうことあります。

本当に必要なものかよく考えた上で、使い切れない量は買わないよう心がけましょう。

省エネと聞くと、「がまん」「面倒ですが、エネルギーを効率的に使うことから始め、賢くシンプルな生活を目指しましょう。

省エネクッキングアイデア



■9月のリサイクルアイデア講座（午前10時～正午） 《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

さき織り	2(木) 9(木)16(木)30(木)	余り布で作るコサージュ	9(木)30(木)
ネクタイのリフォーム	2(木) 16(木)	毛糸のリサイクル	3(金)10(金)
かんたんリフォーム(ブラウス)	3(金) 10(金)17(金)	布あそび	11(土)25(土)
フラワーアレンジメント	4(土)18(土)	牛乳パック工作(ペン立て)	12(日)
やさしいパッチワーク(※1)	4(土)15(水)	牛乳パック工作(椅子)	25(土)
和服のリフォーム	7(火)14(火)	(※1) 4(土)は午後1時～3時	
モラで小物づくり	7(火)	(※2) 午前9時30分～正午	
カントリードール(※2)	8(水)15(水)	(※3) 午前9時30分～正午	
トールペインティング(※3)	8(水)22(水)10/6(水)	3回で仕上げます。	

■9月のフリーマーケット

◇日時 9月12日(日) 午前9時～午後3時(雨天中止)
※おもちゃの病院もあります(受付は午前10時～11時30分)
※10月のフリーマーケットは10月10日(日)「やまぐちエコパークまつり」です。出店の申し込みは、9月15日(水)午前8時30分から直接リサイクルプラザで、受け付けます(出店共益費600円)。



第14回市民大学講座当日券の販売時間変更のお知らせ

市民大学講座当日券の販売開始時間を午後6時20分に変更します。
ただし、4日間の通し券が完売していますので当日、空席がある場合のみの販売となります。
◇問い合わせ 市生涯学習課（☎934-2680）

山口市役所 〒753-8650 龍山町2-1

敬老金支給のお知らせ

市では、次に該当する方に対し、長寿を祝して、9月20日の敬老の日前後に敬老金を支給します。

◇対象（いずれにも該当する方）

・6月1日時点で、山口市に住民票のある方及び外国人登録をしている方

・平成16年4月2日から17年4月1日の間に80歳（傘寿）、88歳（米寿）、90歳（卒寿）99歳（白寿）、100歳（上寿）及び101歳以上の各年齢の誕生日を迎える方

・平成16年4月2日から17年4月1日の間に80歳（傘寿）、88歳（米寿）、90歳（卒寿）99歳（白寿）、100歳（上寿）及び101歳以上の各年齢の誕生日を迎える方

山口・防府圏域探訪 バスツアー参加者募集

◇期日 10月24日（日）

◇内容 毛利氏庭園・毛利博物館、菜香亭、山口情報芸術センター、中原中也記念館、小郡町文化資

料館をバスでまわります。

◇定員 市内から40人

◇参加費 2000円（昼食代含む）

◇申し込み・問い合わせ 9月10

日（金・必着）までにハガキにて

住所、氏名、生年月日、性別、電

話番号、集合場所の希望（市民会

館小ホール前または山口南総合セ

ンター）を明記の上、市企画経営

課（☎934-2747）※ハガ

キ一枚につき4人まで申込可

キラリンピック（障がい者球技大会）出場者募集

◇日時 9月18日（土）午後2時～4時（午後1時開場）

◇場所 ニューメディアプラザ山

口（熊野町1-10）

◇演題／講師 「街中に残された

繩文遺跡」中園町・中込田遺跡

」／中村友博氏（山口大学人

文学部教授）

◇定員 200人（先着順）

◇申し込み・問い合わせ ハガ

キ、FAX、Eメールのいずれか

◇聴講料 無料

◇申し込み・問い合わせ ハガ

キ、FAX、Eメールのいずれか

で「住所、氏名、電話番号を明記の上、市文化振興課市史編さん室（〒753-0070白石一丁目2-7 ☎934-0200 Fax934-0201 ☎s-hensan@city.yamaguchi.yamaguchi.jp）

※聴講券を送付しますので、当日ご持参ください。席に余裕のある場合は当日でも聴講できます。

◇場所 県スポーツ文化センター（吉敷3995-11）
身体障害者手帳の交付を受けていて県内に居住している方／平成16年4月1日現在で13歳以上の方／競技に支障のある疾患のない方

◇競技種目 卓球、サウンドテープルテニス、ソフトバレー、ボーリング、風船バレー、ボーリー、レクリエーションボッチャ※1人1種目

◇申し込み・問い合わせ 市高齢障害課（☎934-2847）
※申込用紙は市高齢障害課（市役所1階）に備え付け

下水道图画・書道コンクール作品の展示

9月10日（金）は「下水道の日

です。下水道に対する理解と関心を高め、下水道の普及促進を図るため、小学生を対象に開催した「山口市下水道图画・書道コンクール」の応募作品を展示します。

◇期間・場所 9月13日（月）～

17日（金）市役所1階市民ホー

ル／9月18日（土）～21日（火）

中市コミュニティホールNac

（☎934-2779）

山口のんた情報（山口ケーブルテレビ）

午前7時45分（水・土）、午後零時15分（火・金）、午後8時15分（月・水・日）、午後10時（水・土）から20分間放送。

○1日～15日

「秋吉台国際芸術村十山口情報芸術センター共同プロデュース・プロジェクト『Runnin'ChorDrive』」

○16日～30日

「ふるさと体験教室『ふれあいふるさと再発見』

ご観てください
山口市の
広報番組

9月の放送
予定です

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。

- 1日「子育て支援①」
- 8日「子育て支援②」
- 15日「子育て支援③」
- 22日「健康シリーズ～マタニティ～」
- 29日「栗林和彦の大内文化探訪」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。

- 5日「生活習慣病予防にむけて」
- 12日、19日、26日「維新の歴史香る十朋亭」

9月の当番医の変更

休日当番医：【12日】中村整形外科（吉敷中村☎933-6111）
土曜当番医：【25日】利重クリニック（江崎☎989-2515）

【26日】柴田病院（大内矢田☎927-2800）

ミュージアムコンサートin県美展

- ◇日時 9月19日(日)正午から ※県美展は9月9日(木)~26日(日)の間、開催します(月曜日休館)。
- ◇場所 県立美術館(亀山町3)
- ◇入場料 無料 ※県美展は有料(大人250円、大学生200円、70歳以上または19歳未満の方は無料)
- ◇問い合わせ 実行委員会(県文化振興課内☎933-2610)

固定資産調査への ご協力をお願いします

市課税課では、固定資産税・都市計画税の適正な課税のため、市内を回り、建物の新增築や減失、土地の現況変更等の把握に努めています。現在、平成7年と11年に撮影した航空写真を参考に、現在建っている建物の現況と課税状況を比較し、適正であるかどうかの確認を進めています。状況に応じて訪問し、実地調査のお願いをすることもありますので、ご協力をお願いします。

来年度以降は平成17年1月撮影予定の航空写真を参考に引き続き作業を進める予定です。

なお、調査職員は必ず名札をつけ、徴税吏員証・固定資産評価補助員証を携帯していますので、不審な点がございましたら、提示をお求めいたくようお願いします。

◇問い合わせ 市課税課家屋担当(☎934-2736)

◇応募・問い合わせ 10月6日

(水・必着)までに、往復ハガキで往信裏面に「住所、氏名、電話番号、希望番組名を、返信表面に「住所、氏名を明記の上、市文化振興課「デジスター」係ま

たは「マンガ夜話」係(☎933-2613)

◇定員 54人(先着順)

◇申し込み・問い合わせ 9月17日(金・必着)までにハガキに「住所、氏名、電話番号、「徒步探訪会参加」と明記の上、山口の文化財を守る会(市文化財保護課内☎753-0073)春日

◇定員 54人(先着順)

◇申し込み・問い合わせ 9月17日(金・必着)までにハガキに「住所、氏名、電話番号、「徒步探訪会参加」と明記の上、山口の文化財を守る会(市文化財保護課内☎753-0073)春日

番組名	デジタル・スタジアム	B S マンガ夜話
場所	山口情報芸術センタースタジオA(中園町7-7)	
日時(予定)	11月5日(金) 午後6時30分~9時	11月6日(土) 午後4時~5時30分
定員	各480人(応募者多数の場合は抽選)	
出演	中島信也 (CMディレクター) ゲスト未定	いしかわじゅん (マンガ家) 岡田斗司夫(作家)他
司会	中谷日出 (NHK解説委員) 相沢礼子(キャスター)	大月隆寛(民俗学者) 笹峯あい(女優)
放送日時(予定)	11月19日(金) 午前零時~零時30分 11月21日(日) 午前1時~1時30分	11月29日(月) 午後11時~午前零時

山口情報芸術センターの開館1周年を記念して、次のNHK番組の無料公開録画が行われます。

公開録画の観覧者募集

山口情報芸術センター
開館1周年記念

4-2718)※ハガキ1枚につき1人のみの応募

文化財徒步探訪会 「天花・一の坂地区」

◇日時 10月3日(日)午前9時30分~午後3時

(中止決定は午前8時)

「成年後見制度」無料相談

高齢者や障がい者等の財産管理、権利擁護を法律面・生活面で支援する、成年後見制度についての相談会です。

【訪問相談(要予約)】

◇期日 9月13日(月)~30日(木)

◇予約 土・日を除く、9月1日(水)~10日(金)の午前9時~

◇場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)

午後5時に電話またはFAXで予約受付後、相談日時を決定

◇内容 調理実習「鉄分&カルシウムをとろう」

◇持用品 エプロン、三角巾、ふきん2枚

◇参加費 200円

◇日時 9月25日(土)午前10時~午後4時

◇申込・問い合わせ (社)成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)

■いずれも

◇申込・問い合わせ (社)

成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)

◇申込・問い合わせ (火)

日(火)までに市保健センター(糸米二丁目6-6)

午後5時に電話またはFAXで予約受付後、相談日時を決定

◇内容 調理実習「鉄分&カルシウムをとろう」

◇持用品 エプロン、三角巾、ふきん2枚

◇参加費 200円

◇日時 9月25日(土)午前10時~午後4時

◇申込・問い合わせ (社)

成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)

◇申込・問い合わせ (火)

日(火)までに市保健センター(糸米二丁目6-6)

町5-1☎920-4111
◇相談担当者 小児科、精神科、整形外科の医師ほか関係者
◇持用品 母子健康手帳
◇申し込み・問い合わせ 市高齢障害課(☎934-2794)

マタニティイクッキング

◇日時 9月22日(水)午前10時~午後1時

◇場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)

午後5時に電話またはFAXで予約受付後、相談日時を決定

◇内容 調理実習「鉄分&カルシウムをとろう」

◇持用品 エプロン、三角巾、ふきん2枚

◇参加費 200円

◇日時 9月25日(土)午前10時~午後4時

◇申込・問い合わせ (社)

成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)

◇申込・問い合わせ (火)

日(火)までに市保健センター(糸米二丁目6-6)

午後5時に電話またはFAXで予約受付後、相談日時を決定

◇内容 調理実習「鉄分&カルシウムをとろう」

◇持用品 エプロン、三角巾、ふきん2枚

◇参加費 200円

◇日時 9月25日(土)午前10時~午後4時

◇申込・問い合わせ (社)

成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)

◇申込・問い合わせ (火)

日(火)までに市保健センター(糸米二丁目6-6)

午後5時に電話またはFAXで予約受付後、相談日時を決定

◇内容 調理実習「鉄分&カルシウムをとろう」

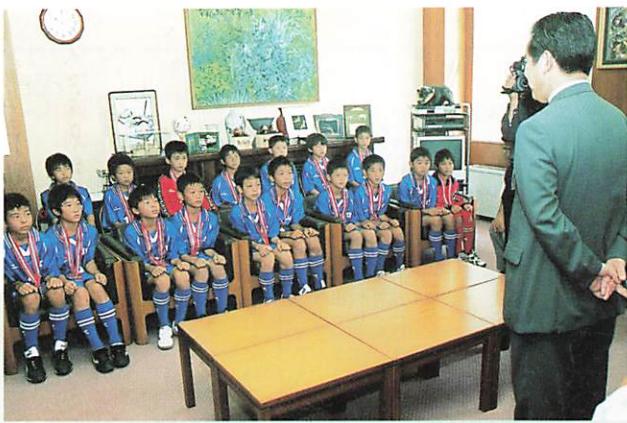
◇持用品 エプロン、三角巾、ふきん2枚

◇参加費 200円

◇日時 9月25日(土)午前10時~午後4時

◇申込・問い合わせ (社)

成年後見センター・リーガルサポート山口支部(県司法書士会館内☎924-5220 FAX921-10475)



山口の名を全国へ轟かせよう

第28回全国少年サッカーフトーナメント大会へ県代表として出場を決めた山口サッカースクールの選手と監督が、市長と教育長に全国大会出場報告を行いました。選手たちは「チームプレーで悔いのない試合をする」と抱負を語りました。(7月26日)



ぼくにも作れたヨ！ふるさとの味

親子や参加者同士でふれあいながら、山口市固有のものを実体験する「ふるさと体験教室」。湯田公民館での外郎づくり体験では、子どもたちが先生の説明に熱心に聞き入った後、調理を行い、山口に伝わる伝統のお菓子への理解を深めたようです。(7月31日)

それともう一つ、世界の頂点に立つた金メダリストたちが身近に感じられたことです。山口県福栄村出身で金メダルをとった女子柔道の阿武選手もそうですが、彼女たちは私たちの町内にもいる普通の日本の若者たちです。

もし、違いがあるとすれば、思いの強さかなという気がします。日本は強い思いとそれに伴う努力があれば誰にでも世界の頂点に立つ可能性が拓かれている国です。

「まちづくりで世界の金メダルを目指そう」。そんな強い思いに駆り立てられた今



新しく生まれ変わった菜香亭

野田神社横に移築された菜香亭の10月2日の公開を前に、一足早く見学会が行われました。見学に訪れたみなさんは大広間や庭園を見ながら、昔の菜香亭を懐かしんでいました。(7月31日)



パシャッ 私の顔でアニメができたよ！

山口情報芸術センターで「つくれるアニメ」ワークショップが行われました。8月11日～22日の期間中たくさんの子どもたちが参加し、アニメ制作体験を通して映像の仕組みを学びました。(8月11日)

表紙写真説明 「風情漂う灯幻の夜」

恒例の山口七夕ちょうちんまつり。祭りの熱気が高まり始める夕暮れ時、パーカードでは、訪れた人たちの手で提灯の点灯が行われ、柔らかな明かりに笑顔が照らされました。(8月7日)



今年は、このほか暑い夏でしたが、アテネ・オリンピックにおける日本人選手のメダルラッシュに日本列島が沸いた年もありました。

オリンピックという世界トップクラスの国際舞台において日本の若い世代が堂々と活躍するのを見ていると21世紀の日本も明るいなという思いになりました。